

## 第5回橋本市ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学) 中澤 静男

- ◇開催日時 2019年1月11日(金) 16時~18時
- ◇会場 橋本市教育文化会館
- ◇参加者 川西・五十川・野田(三石小)、米山・辻本・中谷(あやの台小)  
岡村・西淵(紀見小)  
森(橋本市教委)、中澤(奈良教育大学)
- ◇内容 ESD学習指導案の相互検討会

### (1) 読み取ったことや感じたことを表現しよう(6年国語科:辻本)

- ・絵を鑑賞して作文を書く  
はじめ:自分の体験(防災キャンプ・語り部の話)を踏まえて書く  
中 :4つの絵を鑑賞して詳しく書く  
終わり:作者の思いを想像して書く
- ・防災キャンプ  
避難所を自分たちで運営する体験
- ・国語と防災との関連のさせ方・導入



### ◇アドバイスなど

#### ①国語科におけるESD

- 時間・空間をこえて、伝わる言葉で書き表す・言葉をみがく
- 教材:防災・自己の体験を踏まえて、自分の言葉で書く

#### ②教材観

- 教材の価値、内包されているESDの視点、SDGsとの関連

#### ③指導観

- 指導の工夫、ESDで養いたい資質能力

### (2) 命とくらしをささえる水(4年総合・五十川)

- ・浄水場の学習と減災をつなぐ:家庭での貯水
- ・年間の総合のカリキュラム:「生活の安全」
- ・浄水場の人の願い:水道水は飲み水ということをわかってもらいたい
- ・校内での子どもの行動の変容:蛇口の流しっぱなしは減っている、他学年に伝える  
牛乳パックの洗い方が他の学年と違う。水を丁寧に使うようになっている。
- ・体験的な活動を授業に取り入れた
- ・水を無駄にしない
- ・水をきれいに使う

### ◇アドバイスなど

- ①水を節約する意味:川の取水量が減る→川の水量が増え、きれいになる  
浄水のためのエネルギー使用量が減る
- ②人物の活用について

- ・高岡さんという「人物」と2回出会う

コミュニケーション力が高まる（高岡さんとの対話）

理解が深まる

「深い学び」に必要なもの

価値観や行動の変革にいたる深い学びには「知識・情報」だけでなく、「感動・実感」など感性にうったえける必要がある。人物との出会いは、「感動・実感」をともなうことになる。

### ③上流・中流・下流をつなぐ流域という考え方

水の恵みに焦点化した学校間交流

### (3) エコマート～地球を支える会社をつくろう～

- ・販売し、利益を環境団体に寄付
- ・販売活動を通して、地球環境について地域住民に啓発していく 連携性
- ・環境に配慮した商品づくり ESDの視点を身に付ける
- ・自分も環境を作っている一員だという自覚 責任性

- ・商品：木工、手芸、野菜、リサイクル

野菜を育てて売る 一番売れる

購入してもらえぬものを考えさせる（ニーズ調査）活動になっている

会社が増えると担任の目が行き届かなくなる

- ・外とのつながりに苦勞する

#### ◇アドバイスなど

①経済活動と環境・社会の融合がこの実践の優れた点である。経済的な裏付けがないと、よい取り組みも継続できない。

②販売終了後の子どもの変化：

授業では考えてしているが、生活レベルでの変容までには至ってない。

← 他者からの承認が自己実現につながる（マズローの欲求の階層説）

保護者からの感想・手紙、地域の人々の声を届ける

一生懸命取り組んでいることを教師がほめる

③計画段階でしっかり話し合わせる事が重要

### (4) わたしたちの町 みんなの町（4年総合）

- ・福祉の学習 前期：障害者福祉、後期：高齢者福祉

→ みんなが暮らしやすい町ってどんな町かな？

- ・全盲の方のお話から、障害者の視点を得る

- ・「調べたことをまとめるグループ」と「考えて行動するグループ」に分かれる

（スロープの制作、障害者用スペース）、マップ作成

#### ◇アドバイスなど

①SDGsとの関連は？

②してあげるといふ感覚になっていないか。



わいそうからのスタートはしかたがない。行動しながら気づいていく。

③障害のある人は「不幸な人」なのか。声をかけること自分がで変わっていく。声をかけた方が「幸せ」になる

④誰かにとってのバリアフリーが、誰かにとってバリアになることがある。多様な人と出会わせ、ユニバーサルデザインまでもっていくといい。

#### ⑤振り返りのさせ方

単元の目標に照らし合わせ、振り返り・問い直しのポイントを与えることで学びが深まる

#### (5) 昔の暮らし (3年社会・川西)

・地域の高齢者と出会わせる 七輪 (5年生のもちまきのもちを焼く)

◇アドバイスなど

①昔の暮らしをシステムとしてとらえ、今の生活システムと比較する。

②昔は遅れている、だけではないことに気づかせる。(クリティシンキング)

不便だけど、自分で考えることができる。

コミュニケーションのきっかけになるものもある。

木を切ることで里山を守ることにもなっている。

価値を見つけていく学習

◇どんどん便利になることっていいことなのか?

◇昔の道具に対する感動を味あわせる

◇新しく生まれているものと失われていったものを比べることで、絶対に失われてはいけないものを考えさせる。

◇発表する目的 (相手意識) を明確にすることで意欲の向上になる。

#### (6) SDGs 食堂ゲーム (あやの台6年・総合)

◇松前町 (愛媛県) 消費生活相談窓口

◇消費を通してSDGsを意識してもらう

